

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025 年 4 月 1 日

都道府県知事 殿

病院名 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院  
開設者 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院  
理事長 中村 康彦

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。  
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院    2. 協力型臨床研修病院    （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・ 項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・ 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

記入日：西暦 2025 年 4 月 1 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030133	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 上尾中央総合病院  番号 030133
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ イトウ ヒロコ 氏名 (姓) 伊藤 氏名 (名) 広子	役職 人事課 係長  (内線 8761 ) (直通電話 (048) 773—1111) e-mail : ishi_jinji@ach.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ イリョウホクジンシャダン アイユカイ アゲチユウオウソウゴウヒョウイン 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)	〒 362-8588 ( 埼玉 都・道・府・県)  上尾市柏座 1-10-10 電話 : (048) 773 — 1111 F A X : (048) 773 — 2952 二次医療圏 の名称 : 埼玉県県央保健医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) (基幹型・協力型記入)	フリガナ イリョウホクジンシャダン アイユカイ アゲチユウオウソウゴウヒョウイン リジチョウ ナカムヤスヒコ 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院 理事長 中村 康彦		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)	〒 362-8588 ( 埼玉 都・道・府・県)  上尾市柏座 1-10-10 電話 : (048) 773 — 1111 F A X : (048) 773 — 2952		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型・協力型記入)	フリガナ トクナガ 姓 徳永	イイチ 名 英吉	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)	http:// www. ach. or. jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030133
 臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院

		※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤： 274 名、非常勤（常勤換算）： 27.32 名 計（常勤換算）：301.32 名、医療法による医師の標準員数： 70.2 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A－3に記入
10. 救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2022 年 12 月 17 日、告示番号：第 1342 号
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		①. 有 （ 434.94 ） m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績		前年度の件数： 14,753 件（うち診療時間外： 11,367 件） 1日平均件数： 40.4 件（うち診療時間外： 31.1 件） 救急車取扱件数： 8,311 件（うち診療時間外： 5,095 件）
	診療時間外の勤務体制		医師： 7 名、看護師及び准看護師： 6 名
	指導を行う者の氏名等		* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（ 産婦人科、耳鼻いんこう科、脳神経外科、循環器内科 ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 724 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： 9 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 12.5 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数： 353 件、異常分娩件数： 127 件
15. 臨床病理検討会（C P C）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績： 15 回、今年度見込： 15 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数		前年度実績： 14 件、今年度見込： 14 件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無 （ _____ ）大学、（ _____ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舍及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舍		①. 有（単身用： 37 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室		①. 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（ 94.0 ） m <sup>2</sup>
	医学図書数		国内図書： 5,306 冊、 国外図書： 108 冊
	医学雑誌数		国内雑誌： 64 種類、国外雑誌： 16 種類
	図書室の利用可能時間		0：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）
	医学教育用機材の整備状況		利用可能時間（ 0 ： 00 ～ 24 ： 00 ）24時間表記 医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ _____ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030133 臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職		フリガナ アラキ ユウスケ		
			氏名(姓) 荒木		氏名(姓) 優輔
			役職 情報管理部 医療情報管理課 主任		
	診療に関する諸記録の管理方法		①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )		
	診療録の保存期間		( 5 ) 年間保存		
	診療録の保存方法		①. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に: 電子カルテ移行前入院カルテ 10 年、外来カルテ 5 年)		
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況		①. 有 ( 1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。		
	安全管理部門の設置状況		職員: 専任 ( 1 ) 名、兼任 ( ) 名 主な活動内容: 提出された安全管理報告書などの分析、予防策の立案と提案・患者安全のための委員会に関する活動・患者安全の為の部署間の調整、対策等の提案・患者安全に関する研修・教育の機会と運営・患者安全に関する院外からの情報収集と対応・患者安全の為の院内評価業務(巡視等)・事故発生時の対応業務		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等:		
			フリガナ アヤキ	セイイチ	
			氏名(姓) 綾木		(名) 誠一
			役職 患者支援課 課長		
			対応時間 ( 9 : 00 ~ 17 : 30 ) 24 時間表記		
			患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		①. 有 0. 無 指針の主な内容: 医療安全の基本的な考え方および用語の定義、関連する部署等の案内、医療事故発生時の対応および改善方策について、等		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年 ( 12 ) 回 活動の主な内容: アクシデント及びインシデント事例の収集、分析、発生防止策の検討、防止策の実施、防止対策実施後の評価。啓発活動。		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年 ( 2 ) 回 研修の主な内容: 第 1 回: 医薬品の安全使用について 演題①絶対にとめてほしいこと 演題②医薬品の安全使用について 第 2 回: 鎮静のプロセスを知ろう～安心して受ける鎮静～			
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 0. 無			
		その他の改善のための方策の主な内容: 報告内容のフィードバック、院内巡視、規定やマニュアルの見直し、改訂			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		修了: 18 名 中断: 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)			前々年度	前年度	当該年度
		1 年	18	19	18
		2 年	19	20	19
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出		許可病床数 ( 733 ) 床÷10＝ ( 73.3 ) 名		
	患者数から算出		年間入院患者数 ( 19,210 ) 人÷100＝ ( 192.10 ) 名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士: 2 名(常勤: 2 名、非常勤: 0 名)			
		2. 作業療法士: 49 名(常勤: 48 名、非常勤: 1 名)			
		3. 臨床心理技術者: 3 名(常勤: 3 名、非常勤: 0 名)			
		9. その他の精神科技術職員: 0 名(常勤: 0 名、非常勤: 0 名)			
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入) JCEP による評価受審の有無を記載してください。		1. 有 ( 年 月 日) ①. 無 有を選択した場合には、直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号： 030133 臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※		
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。	
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名	
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 ( 1. 有 ①. 無 ) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分 ) 病児保育 ( 1. 有 0. 無 ) 夜間保育 ( 1. 有 0. 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 0. 不可 ) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 ①. 無 ) その他の補助 ( 具体的に : )	
	保育補助			
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 ( ①. 有 0. 無 ) 授乳スペース ( ①. 有 0. 無 )	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 ( 院外との連携した取組もあれば記入 )		院外に附属の保育園を有している。 園内に病児保育室あり、病児保育や勤務状況に合わせ夜間保育も可能。 研修医の子どもも利用可。病院と保育園までの車両送迎有。	
	研修医のライフイベントの相談窓口		①. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( 臨床研修センター ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) ①. 無	
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 ( 組織管理課 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) ①. 無	
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。				
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称 :  プログラム番号 : _____	
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次 : 名、2 年次 : 名	
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 氏名 ( 姓 ) 氏名 ( 姓 ) 所属 役職 電話 : ( ) — F A X : ( ) — e-mail : URL : http://	
	資料請求先		住所 〒 □ □ □ — □ □ □ □ ( 都・道・府・県 ) 担当部門 担当部門 電話 : ( ) — F A X : ( ) — e-mail : URL : http://	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 臨床研修病院の名称：

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） <small>（基幹型記入）</small>	募集方法		1. 公募 2. その他（具体的に： ）	
	応募必要書類 （複数選択可）		1. 履歴書、2. 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）	
	選考方法 （複数選択可）		1. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： ）	
	募集及び選考の時期		募集時期： 月 日頃から 選考時期： 月 日頃から	
	マッチング利用の有無		1. 有 0. 無	
31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>（基幹型記入）</small>			概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 年 月 日）	
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） <small>（基幹型記入）</small>  ＊ プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入			（プログラム責任者） フリガナ	
		氏名（姓）	氏名（名）	
		所属 役職		
		（副プログラム責任者） 1. 有（ 名） 0. 無		
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 <small>（基幹型記入）</small> 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。			＊ 別紙4に記入	
34. インターネットを用いた評価システム			1. 有（ ・EPOC ・その他（ ） ） 0. 無	
35. 研修開始時期 <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>			西暦 年 月 日	
36. 研修医の処遇 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>		1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 2. 病院独自の処遇とする。	
	常勤・非常勤の別		1. 常勤 2. 非常勤	
	研修手当		一年次の支給額（税込み）	二年次の支給額（税込み）
			基本手当／月（ 円）	基本手当／月（ 円）
			賞与／年（ 円）	賞与／年（ 円）
			時間外手当： 1. 有 0. 無	
			休日手当： 1. 有 0. 無	
	勤務時間		基本的な勤務時間（ ： ～ ： ）24時間表記 休憩時間（ ）	
			時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無	
	休暇		有給休暇（1年次： 日、2年次： 日） 夏季休暇（ 1. 有 0. 無） 年末年始（ 1. 有 0. 無） その他休暇（具体的に： ）	
当直		回数（約 回／月）		
研修医の宿舍（再掲）		1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>		
研修医室（再掲）		1. 有（ 室） 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>		
社会保険・労働保険		公的医療保険（ ）		
		公的年金保険（ ）		
		労働者災害補償保険法の適用（ 1. 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（ 1. 有 0. 無） 雇用保険（ 1. 有 0. 無）		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号：
 臨床研修病院の名称：

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） <small>（基幹型・協力型記入）</small>	健康管理	健康診断（年 回） その他（具体的に ）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 （1. 有 0. 無） <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください （ 時 分 ～ 時 分）</small>
		病児保育 （1. 有 0. 無） 夜間保育 （1. 有 0. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か （1. 可 0. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 （1. 有 0. 無）
		その他の補助（具体的に： ）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 （1. 有 0. 無） 授乳スペース （1. 有 0. 無）
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
37. 研修医手帳 <small>（基幹型記入）</small>		1. 有 0. 無
38. 連携状況 <small>（基幹型記入）</small>		* 様式A-6に記入

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

- (4)「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1 \div 2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$



- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（C P C）の実施状況」欄について
- （１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したC P Cの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- （２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- （３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。
- （２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- （２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- （２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。
- （２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- （３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で１年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。
- （２）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。
- （４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（１）～（３）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- （５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいなかった場合は「０．無」に○をすること。
- （６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいなかった場合は「０．無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- (１)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (２)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (３)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (４)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (５)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- (１)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に○をつけること。
- (２)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (３)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に○をつけること。
- (４)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (５)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (６)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (７)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (８)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (９)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

# 7. 病院群の構成等

様式 A－10別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県： 上尾中央総合病院 （埼玉県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
埼玉県	埼玉県県央保健医療圏	医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院  (病院施設番号： 030133 )		埼玉県	県央		埼玉県立精神医療センター (病院施設番号： 030128 )		鹿児島県	奄美		徳之島徳洲会病院 (病院施設番号： 030951)		上尾中央総合病院臨床研修プログラム	19
				東京都	区西北部		帝京大学医学部附属病院 (病院施設番号： 030224 )		鹿児島県	奄美		名瀬徳洲会病院 (病院施設番号： 031000)			
							(病院施設番号： )		北海道	日高		日高徳洲会病院 (病院施設番号： 031061)			
							(病院施設番号： )		北海道	十勝		帯広徳洲会病院 (病院施設番号： 031070)			
							(病院施設番号： )		岡山県	真庭		金田病院 (病院施設番号： 031911)			
							(病院施設番号： )		鹿児島県	奄美		与論徳洲会病院 (病院施設番号： 033281)			
							(病院施設番号： )		沖縄県	宮古		宮古島徳洲会病院 (病院施設番号： 033295)			
							(病院施設番号： )		岡山県	高梁・新見		哲西町診療所 (病院施設番号： 034515)			
							(病院施設番号： )		石川県	輪島市		市立輪島病院 (病院施設番号：035123)			
							(病院施設番号： )		埼玉県	秩父		皆野病院 (病院施設番号： 041002)			
							(病院施設番号： )		沖縄県	八重山		石垣島徳洲会病院 (病院施設番号： 041005)			
							(病院施設番号： )		岡山県	県南西部		矢掛町国民健康保険病院 (病院施設番号： 070042)			
							(病院施設番号： )		鹿児島県	奄美		喜界徳洲会病院 (病院施設番号：137366)			
							(病院施設番号： )		群馬県	沼田市		内田病院 (病院施設番号：168263)			
							(病院施設番号： )		香川県	小豆		小豆島中央病院 (病院施設番号： 7011716)			

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
<p>病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。</p> <p>【帝京大学医学部附属病院】 精神科研修：埼玉県立精神医療センターで受入れ頂いている。初期臨床研修医1年次19名、2年次19名の受入が厳しくなっており、県内で検討したが、受入れは困難であった。帝京大学にご協力をいただき、承諾いただいた。</p> <p>【徳之島徳洲会病院】【名瀬徳洲会病院】【与論徳洲会病院】【石垣島徳洲会病院】【宮古島徳洲会病院】【喜界徳洲会病院】 日本の医療にとって離島での医療体制の維持は欠かせないものであるが、それを若手医師が経験し問題点に気づいておくことは今後の彼らの大きな財産になると考えている。さらに医療資源の違い、年齢構成比の違い、離島独自の特徴などによって医療内容そのものを適切に変化させる必要があることの気づきも大切である。当院のような、関東圏にある専門医の揃った大病院での医療とは異なる医療の経験を目的として、このような離島での研修を実施している。</p> <p>【日高徳洲会病院】【帯広徳洲会病院】 いずれも北海道の小規模病院で、当院とは異なりごく少数の医師で医療体制を維持している。日本ではそのような病院が地域医療を支えていること理解し、専門医の揃った大病院での医療とは異なる医療を経験することを目的として研修を実施している。</p> <p>【金田病院】【矢掛町国民健康保険病院】 いずれも岡山県の高齢化・過疎化が進んでいる地域の小規模病院で、当院とは異なりごく少数の医師で医療体制を維持している。日本ではそのような病院が地域医療を支えていること理解し、専門医の揃った大病院での医療とは異なる医療を経験することを目的として研修を実施している。</p> <p>【哲西町診療所】 岡山県北西部に位置する無床診療所である。高齢化・過疎化が進んでいる地域であるが、町全体で健康向上のための取り組みを行っており、診療所はその中心的役割を務めている。24時間365日何科でも断らず診る医療、更に出前医療（在宅医療等）を通して保健・福祉と連携した地域包括ケアを経験することができる。</p> <p>【市立輪島病院】 高齢化が著しい能登半島北部地域に位置する地域唯一の総合病院である。金沢の高次病院まで救急車で1時間近く要するため、小規模病院ではあるがその果たすべき役割は大きい。そのような地域病院で実践されている医療の問題点を認識し実践すること、さらに災害拠点病院としての重要性を理解することができる。</p> <p>【皆野病院】 埼玉県で最も高齢化・過疎化が進みつつある秩父郡皆野町に位置している。さらには医師不足も深刻で、そのような地域における医療体制維持のための問題点を理解し、実際に医療に携わることで日本全体の医療問題のひとつとしての意識づけをすることができる。</p> <p>【内田病院】 高齢化の著しい群馬県沼田市に位置している。「拘束しない」認知症ケアを行っている点で、全国的にも有名な施設のひとつである。認知症患者の専用病棟が2つあり、認知症患者のケアについて十分学ぶことができ、さらに地域包括ケアや看取りの医療についても十分に経験することができる。</p> <p>【小豆島中央病院】 小豆島は一番小さな医療圏に相当する。総合病院であるが少数の医師で医療体制を維持している。院内で完結すべき診療と、高次医療機関へ搬送すべき症例を的確にトリアージする能力の向上と、防災ヘリや救急艇などの小豆島ならではの医療の経験のために研修を実施している。</p>															

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に結めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（ 2024 年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030133

臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院

氏名		所属	役職	備考
クロサワ	ヨシヒロ	医療法人社団愛友会	診療部 臨床研修センター長	研修管理委員長
黒沢	祥浩	上尾中央総合病院	診療部 総合診療科 診療顧問	プログラム責任者 指導医
ササモト	タカヒロ	医療法人社団愛友会	診療部 臨床研修副センター長	研修管理副委員長
笹本	貴広	上尾中央総合病院	診療部 総合診療科 科長	副プログラム責任者 指導医
トクナガ	エイキチ	医療法人社団愛友会	院長	研修管理委員
徳永	英吉	上尾中央総合病院		指導医
オオムラ	ケンジ	医療法人社団愛友会	診療部 栄養サポートセンター	研修管理委員
大村	健二	上尾中央総合病院	センター長	指導医
ワダ	タカフミ	医療法人社団愛友会	診療部 災害医療センター	研修管理委員
和田	崇文	上尾中央総合病院	センター長	指導医
クマサカ	カズナリ	医療法人社団愛友会	診療部 臨床検査科	研修管理委員
熊坂	一成	上尾中央総合病院	科長	指導医
シミズ	タカシ	医療法人社団愛友会	診療部 脳神経外科	研修管理委員
清水	崇	上尾中央総合病院	科長	指導医
スギタニ	マサヒコ	医療法人社団愛友会	診療部 病理診断科	研修管理委員
杉谷	雅彦	上尾中央総合病院	科長	指導医
センプク	ヤスタカ	医療法人社団愛友会	診療部 血液内科	研修管理委員
泉福	恭敬	上尾中央総合病院	科長	指導医
ツチヤ	アキヒコ	医療法人社団愛友会	診療部 消化器内科	研修管理委員
土屋	昭彦	上尾中央総合病院	科長	指導医
オオノ	ダイ	医療法人社団愛友会	診療部 腎臓内科	研修管理委員
大野	大	上尾中央総合病院	科長	指導医

年次用

(No. 2 )

氏名		所属	役職	備考
オオコウチ	トモヒサ	医療法人社団愛友会	診療部 放射線診断科	研修管理委員
大河内	知久	上尾中央総合病院	副科長	指導医
カンベ	フミコ	医療法人社団愛友会	診療部 麻酔科	研修管理委員
神部	芙美子	上尾中央総合病院	副科長	指導医
モリタカ	マサユキ	医療法人社団愛友会	診療部 救急科	研修管理委員
森高	順之	上尾中央総合病院	副科長	指導医
ニエ	ユウスケ	医療法人社団愛友会	診療部 消化器外科	研修管理委員
贅	裕亮	上尾中央総合病院	医長	指導医
イデヤマ	サトミ	医療法人社団愛友会	看護部 副部長	研修管理委員
出山	智美	上尾中央総合病院		指導医
アオキ	カオリ	医療法人社団愛友会	看護部 科長	研修管理委員
青木	かおり	上尾中央総合病院		指導医
ノガワ	ユリコ	医療法人社団愛友会	看護部 係長	研修管理委員
野川	百合子	上尾中央総合病院		指導医
ホシノ	ナミコ	医療法人社団愛友会	看護部 主任	研修管理委員
星野	菜見子	上尾中央総合病院		指導医
クマクラ	ヒロヨシ	医療法人社団愛友会	薬剤部 係長	研修管理委員
熊倉	裕昌	上尾中央総合病院		指導医
カリベ	ダイ	医療法人社団愛友会	リハビリテーション技術科 主任	研修管理委員
刈部	悌	上尾中央総合病院		指導医
シオザワ	アキヒコ	医療法人社団愛友会	事務部 部長	研修管理委員
塩沢	昭彦	上尾中央総合病院		指導医
タチカワ	トシアキ	医療法人社団愛友会	事務部 副部長	研修管理委員
立川	敏章	上尾中央総合病院		指導医

氏名		所属	役職	備考
マツザキ	サトシ	医療法人社団愛友会	事務部 副部長	研修管理委員 指導医
松崎	智	上尾中央総合病院		
ヒルマ	ヒデト	医療法人社団愛友会	事務部 次長	研修管理委員 指導医
比留間	英人	上尾中央総合病院		
フジノ	タカヒロ	医療法人社団愛友会	事務部 次長	研修管理委員 指導医
藤野	貴啓	上尾中央総合病院		
スズキ	ヨシチカ	医療法人社団愛友会	事務部 次長	研修管理委員 指導医
鈴木	義親	上尾中央総合病院		
コマミヤ	カズアキ	医療法人社団愛友会	事務部 課長	研修管理委員 指導医
駒宮	和明	上尾中央総合病院		
イトウ	ヒロコ	医療法人社団愛友会	事務部 係長	研修管理委員 指導医
伊藤	広子	上尾中央総合病院		
イノウエ	マユ	医療法人社団愛友会	事務部 一般	研修管理委員 指導医
井上	まゆ	上尾中央総合病院		
トザワ	リコ	医療法人社団愛友会	事務部 一般	研修管理委員 指導医
戸澤	莉子	上尾中央総合病院		
タカキ	カツアキ	医療法人社団愛友会	初期臨床研修医 2 年次	研修管理委員
高木	克明	上尾中央総合病院		
オオヤマ	ルイ	医療法人社団愛友会	初期臨床研修医 1 年次	研修管理委員
大山	瑠依	上尾中央総合病院		
ナルセ	ノブヤ	埼玉県立精神医療センター	副院長	研修管理委員 研修実施責任者
成瀬	暢也			

年次用

様式 A－10 別紙 1  
(No. 4 )

氏名		所属	役職	備考
クヌギ	ヒロシ	帝京大学医学部附属病院	精神神経科 主任教授	研修管理委員
功刀	浩			研修実施責任者
ニイロ	ナオヒサ	医療法人徳洲会	院長	研修管理委員
新納	直久	徳之島徳洲会病院		研修実施責任者
ミツモト	ヨウジロウ	医療法人徳洲会	院長	研修管理委員
満元	洋二郎	名瀬徳洲会病院		研修実施責任者
イサイ	ヒデヤ	医療法人静仁会	院長	研修管理委員
井齊	偉矢	日高徳洲会病院		研修実施責任者
タケノウチ	ゴウ	医療法人徳洲会	院長	研修管理委員
竹ノ内	豪	帯広徳洲会病院		研修実施責任者
ミズシマ	タカアキ	社会医療法人緑社会	院長	研修管理委員
水島	孝明	金田病院		研修実施責任者
ヤマグチ	マサヒロ	小豆島中央病院	院長	研修管理委員
山口	真弘			研修実施責任者
タカスギ	カシヤ	特定医療法人沖縄徳洲会	院長	研修管理委員
高杉	香志也	与論徳洲会病院		研修実施責任者
カネシロ	タカオ	特定医療法人沖縄徳洲会	院長	研修管理委員
兼城	隆雄	宮古島徳洲会病院		研修実施責任者
サトウ	マサル	社会医療法人 哲西会	所長	研修管理委員
土井	浩二	哲西町診療所		研修実施責任者
シナガワ	マコト	市立輪島病院	院長	研修管理委員
品川	誠			研修実施責任者
シロベ	タカシ	埼玉医療生活協同組合	院長	研修管理委員
白部	多可史	皆野病院		研修実施責任者



氏名		所属	役職	備考
コバタ	シンヤ	特定医療法人沖縄徳洲会 石垣島徳洲会病院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
小畑	慎也			
ムラカミ	マサカズ	矢掛町国民健康保険病院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
村上	正和			
コバヤシ	ススム	医療法人徳洲会 喜界徳洲会病院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
小林	奏			
タナカ	ユキコ	医療法人 大誠会 内田病院	院長	研修管理委員 研修実施責任者
田中	志子			
セキネ	アキラ	あげお第一診療所	院長	研修管理委員(外部委員)
関根	威			
ハヤシダ	フジコ	地域識者（患者代表）	一般	研修管理委員(外部委員)
林田	富士子			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院
病院施設番号：030133

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 （部 門）	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計	
							産 科	婦 人 科					整 形 外 科	泌 尿 器 科	こ じ り 科		耳 鼻 い ん
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数	8,360	30 (14,753)	3,196	0	1,442	817 (353)			0				1,526	1,971	1,249	19,210	
年間新外来患者数	10,933	6,518	9,480	0	3,487	1,819			0				2,370	2,272	3,127	43,388	
1日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	523.9 (295)	33.2 (295)	222.4 (295)	0 (295)	84.3 (295)	70.7 (295)			0 (295)				201.9 (295)	97.8 (295)	95.7 (295)		
平均在院日数	11.0	1.0	17.1	0.0	3.1	5.8			0.0				23.5	6.5	10.0		
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導 医）数）	83 ( 27)	4 ( 2)	39 (20)	12 ( 6)	9 ( 6)	8 ( 3)							10 ( 4)	14 ( 7)	9 ( 5)	215 ( 90)	

## 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

病院施設番号：030133

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 （部 門）	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
													形 成 外 科	皮 膚 科	眼 科	
							産 科	婦 人 科								
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数		（ ）				（ ）	（ ）						146	188	285	
年間新外来患者数													539	1,464	658	
1日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	31.1 (295)	57.0 (295)	52.4 (295)	
平均在院日数													16.3	15.2	2.9	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導 医）数）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	4 (0)	4 ( 0)	5 ( 0)	（ ）

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院
病院施設番号：030133

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 （ 部 門 ）	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計	
							産 科	婦 人 科					断 科	放 射 線 診	科 臨 床 検 査		科 病 理 診 断
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数		（ ）				（ ）	（ ）		0				0	0	0		
年間新外来患者数													721	0	0		
1 日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	3. 4 (295)	0 (295)	0 (296)		
平均在院日数													0	0	0		
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導 医）数）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	8 （ 6）	1 （ 1）	5 （ 3）	（ ）	

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

# 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 2024 年度分)								臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院						
								病院施設番号： 030133						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
上尾中央総合病院	内科	18	16	16	13	12	8	11	13	13	9	9	14	9
上尾中央総合病院	救急科	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	5	5	3
上尾中央総合病院	外科	6	4	4	5	7	10	5	3	5	8	8	6	1
上尾中央総合病院	麻酔科	4	3	3	3	3	3	4	4	2	4	4	4	2
上尾中央総合病院	小児科	2	0	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1
上尾中央総合病院	産婦人科	2	2	2	2	1	2	1	2	2	1	1	1	1
津田沼中央総合病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津田沼中央総合病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彩の国東大宮メディカルセンター	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
彩の国東大宮メディカルセンター	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三郷中央総合病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三郷中央総合病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊谷総合病院	耳鼻いんこう科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊谷総合病院	病理診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。
- ※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。
- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 2025 年度分)								臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院						
								病院施設番号： 030133						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
上尾中央総合病院	内科	18	19	15	15	13	15	12	12	10	13	15	12	7
上尾中央総合病院	救急科	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	4	4	3
上尾中央総合病院	外科	5	2	3	3	5	4	5	4	6	6	8	10	1
上尾中央総合病院	麻酔科	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2
上尾中央総合病院	小児科	1	1	1	0	1	2	1	2	2	2	1	2	1
上尾中央総合病院	産婦人科	2	1	1	1	2	1	1	2	1	0	2	2	1
津田沼中央総合病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津田沼中央総合病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彩の国東大宮メディカルセンター	小児科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
彩の国東大宮メディカルセンター	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三郷中央総合病院	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三郷中央総合病院	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊谷総合病院	耳鼻いんこう科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊谷総合病院	病理診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：

病院施設番号： 030133

臨床研修病院の名称： 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院

臨床研修病院群番号： 030133

臨床研修病院群名： 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	上尾中央総合病院臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	<p>医師として必要不可欠な素養を包括する3つのキーワード、「責任」「信頼」「自立」を身につけることを目的として作成されたプログラムである。そのために3本の柱、すなわち救急科（日当直を含む）研修・総合診療科研修・地域医療研修（離島・へき地研修）を研修の中心に立て、その他の研修科で知識や技術を補う形をとっている。救急科・日当直では年間約 7,600 台の救急搬送患者をファーストタッチし、総合診療科研修では医療チームのリーダーとなり、診療方針の決定から IC まで医療に関わるすべてを研修医自らがこなすことを原則としている。離島・へき地研修は、医療資源の少ない場所での診療、訪問診療、外来診療を幅広く学ぶ場となっている。また、指導医の使命は教える・導くことではなく、研修医の成長と自立を最大限促せるような環境作りをすることとしている。</p>				
3. 臨床研修の目標の概要	医療チームの一員として、個々の患者を様々な視点で診療できる能力を習得し、医師としての責務を果たしリーダーシップを身につけることができるプログラムとなっている。				
4. 研修期間	（ 2 ） 年 （原則として、「2年」と記入してください。）				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 引き続き専門研修を行うことも可能				
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030133	上尾中央総合病院	2 4 週	1 週
	救急部門	030133	上尾中央総合病院	1 2 週	
	地域医療	031070	帯広徳洲会病院	4 週	一般外来 2 週  在宅診療 0.5 週
		031061	日高徳洲会病院		
		031000	名瀬徳洲会病院		
		030951	徳之島徳洲会病院		
		033281	与論徳洲会病院		
		033295	宮古島徳洲会病院		
		041005	石垣島徳洲会病院		
		041002	皆野病院		
031911	金田病院				

必修科目・分野	地域医療	031972	小豆島中央病院	4 週	一般外来 2 週  在宅診療 0.5 週
		034515	哲西町診療所		
		070042	矢掛町国民健康保険病院		
		137366	喜界徳洲会病院		
		168263	内田病院		
		035123	市立輪島病院		
	外科	030133	上尾中央総合病院	8 週	
	小児科	030133	上尾中央総合病院	4 週	1 週
	産婦人科	030133	上尾中央総合病院	4 週	
	精神科	030128	埼玉県立精神医療センター	4 週	
		030224	帝京大学医学部附属病院		
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030133	上尾中央総合病院	8 週	
選択科目	地域医療	031070	常広徳洲会病院	4 週	一般外来 2 週  在宅診療 0.5 週
		031061	日高徳洲会病院		
		031000	名瀬徳洲会病院		
		030951	徳之島徳洲会病院		
		033281	与論徳洲会病院		
		033295	宮古島徳洲会病院		
		041005	石垣島徳洲会病院		
		041002	皆野病院		
		031911	金田病院		
		031972	小豆島中央病院		
		034515	哲西町診療所		
		070042	矢掛町国民健康保険病院		
		137366	喜界徳洲会病院		
		168263	内田病院		
		035123	市立輪島病院		
	その他 (備考に記載)	030133	上尾中央総合病院	2 4 ~ 3 6 週	

備考： ・ 臨床研修協力施設での研修期間：最大 1 2 週

- ・ 精神科の必修科目は県立精神医療センターまたは帝京大学医学部附属病院で研修を行う
- ・ 救急部門(当直回数月 4 回程度)
- ・ 一般外来の研修を行う診療科：総合診療科、小児科、地域医療
- ・ 当院で決めた必須科目は、1 か月は外科を必須、残りの 1 か月は外科系（外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、乳腺外科）の中から選択できる
- ・ その他選択科目（上尾中央総合病院における選択科目）  
糖尿病内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科  
総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科皮膚科  
泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科  
救急科、病理診断科



プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030133	臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 030133	臨床研修病院群名： 上尾中央総合病院

6. 研修スケジュール（一年次，二年次：いずれかに○）

プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

[illegible]

臨床研修病院の名称： 上尾中央総合病院

臨床研修病院群名： 上尾中央総合病院

プログラム番号

(No. 1)

[illegible]

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 3)

[illegible]

[illegible]

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１															(No. 4)												
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 ＊２	1～ 4週		5～ 8週		9～ 12週		11～ 16週		17～ 20週		21～ 24週		25～ 28週		29～ 32週		33～ 36週		37～ 40週		41～ 44週		45～ 48週		49～ 52週	
喜徳洲会病院 (137366)	精 神 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
内田病院 (168263)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
市立輪島病院 (035123)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埼玉県立精神医療センター (030128)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
帝京大学医学部附属病院 (030224)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	泉福 恭敬	上尾中央総合 病院	科長	27 年	○	指導医講習会受講 済血液専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
内科	鴫田 勝哉	上尾中央総合 病院	副科長	23 年	○	指導医講習会受講 済血液専門医・指導 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	瀧 雅成	上尾中央総合 病院	科長	23 年	○	指導医講習会受講 済糖尿病専門医 動脈硬化専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
内科	岡 征児	上尾中央総合 病院	医長	12 年	○	指導医講習会受講 済 糖尿病専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	土屋 昭彦	上尾中央総合 病院	科長	35 年	○	指導医講習会受講 済消化器病指導医 胃腸科指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	西川 稿	上尾中央総合 病院	副院長	40 年	○	指導医講習会受講 済消化器病指導医 消化器内視鏡指導 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	中村 直裕	上尾中央総合 病院	医長	11 年	○	指導医講習会受講 済消化器病専門医 消化器内視鏡専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	小山 洋平	上尾中央総合 病院	医長	13 年	○	指導医講習会受講 済消化器病専門医 消化器内視鏡専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	高森 頼雪	上尾中央総合 病院	科長	35 年	○	指導医講習会受講 済消化器病専門医 肝臓専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	谷本 周三	上尾中央総合 病院	科長	24 年	○	指導医講習会受講 済日本循環器学会 専門医 日本集中資料医学 会 集中治療専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	緒方 信彦	上尾中央総合 病院	副院長	31 年	○	指導医講習会受講 済循環器専門医 内科認定医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	中野 将孝	上尾中央総合 病院	副科長	20 年	○	指導医講習会受講 済日本循環器学会 専門医 日本心血管インターベン ション治療学会 認定 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	小橋 啓一	上尾中央総合 病院	副科長	20 年	○	指導医講習会受講 済日本循環器学会 専門医 日本心血管インターベン ション治療学会 認定 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	山野井 貴彦	上尾中央総合 病院	科長	30 年	○	指導医講習会受講 済神経内科専門医・ 指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
内科	亀井 聡	上尾中央総合 病院	診療顧問	44 年	○	指導医講習会受講 済	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4



臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	徳永 恵子	上尾中央総合 病院	診療顧問	37 年	○	指導医講習会受講 済神経内科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	飯塚 誉	上尾中央総合 病院	一般	11 年	○	指導医講習会受講 済神経内科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	大野 大	上尾中央総合 病院	科長	22 年	○	指導医講習会受講 済腎臓専門医 透析専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
内科	児島 憲一郎	上尾中央総合 病院	副院長	31 年	○	指導医講習会受講 済腎臓専門医 透析指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	野坂 仁也	上尾中央総合 病院	診療顧問	29 年	○	指導医講習会受講 済腎臓専門医 透析専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	中島 日出夫	上尾中央総合 病院	科長	36 年	○	指導医講習会受講 済がん治療認定医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	村田 修	上尾中央総合 病院	科長	33 年	○	指導医講習会受講 済放射線科専門医 PET 核医学認定医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	笹本 貴広	上尾中央総合 病院	科長	25 年	○	指導医講習会受講 済消化器病専門医 肝臓専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	2、3、4
内科	黒沢 祥浩	上尾中央総合 病院	診療顧問	39 年	○	指導医講習会受講 済小児科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	1、3、4
内科	鈴木 清澄	上尾中央総合 病院	一般	16 年	○	指導医講習会受講 済日本内科学会 総 合内科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	岩崎 司	上尾中央総合 病院	一般	11 年	○	指導医講習会受講 済日本内科学会 総 合内科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
内科	高沢 有史	上尾中央総合 病院	センター長	41 年	○	指導医講習会受講 済心臓血管外科専 門医 外科指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
救急科	和田 崇文	上尾中央総合 病院	科長	37 年	○	指導医講習会受講 済 日本救急医学会 救急科専門医・指導 医 日本集中治療医学 会集中治療専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
救急科	森高 順之	上尾中央総合 病院	副科長	17 年	○	指導医講習会受講 済 日本救急医学 会・専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	岡本 信彦	上尾中央総合 病院	科長	27 年	○	指導医講習会受講 済 外科専門医・指 導医消化器外科専 門医・指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
外科	筒井 敦子	上尾中央総合 病院	科長	22 年	○	指導医講習会受講 済 日本大腸肛門 病学会 大腸肛門 病専門医・指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	萩原 千恵	上尾中央総合 病院	医長	14 年	○	指導医講習会受講 済 外科専門医 消化器外科専門医・ 指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	若林 大雅	上尾中央総合 病院	医長	13 年	○	指導医講習会受講 済 外科専門医 消化器外科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	大村 健二	上尾中央総合 病院	センター長	43 年	○	指導医講習会受講 済日本がん治療認 定医機構暫定教育 医、日本外科学会外 科専門医、日本消化 器外科学会指導医、 日本消化器病学会 指導医、日本静脈経 腸栄養学会指導医、 日本超音波医学会 超音波指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	稲田 秀洋	上尾中央総合 病院	科長	21 年	○	指導医講習会受講 済呼吸器外科専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	中熊 尊士	上尾中央総合 病院	科長	35 年	○	指導医講習会受講 済外科専門医 乳腺専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
外科	上野 聡一郎	上尾中央総合 病院	上席副院長	41 年	○	指導医講習会受講 済外科指導医 救急科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	山崎 香奈	上尾中央総合 病院	副科長	14 年	○	指導医講習会受講 済外科専門医 乳腺専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	畑中 章生	上尾中央総合 病院	科長	25 年	○	指導医講習会受講 済 耳鼻咽喉科専門医・ 専門研修指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	久場 潔実	上尾中央総合 病院	副科長	15 年	○	指導医講習会受講 済 耳鼻咽喉科専門研 修指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	北口 哲雄	上尾中央総合 病院	科長	43 年	○	指導医講習会受講 済	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	時崎 暢	上尾中央総合 病院	センター長	28 年	○	指導医講習会受講 済	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	鈴木 雅之	上尾中央総合 病院	医長	28 年	○	指導医講習会受講 済	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	石黒 匡史	上尾中央総合 病院	科長	33 年	○	指導医講習会受講 済日本形成外科学 会 形成外科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	堀 大治郎	上尾中央総合 病院	科長	19 年	○	指導医講習会受講 済三学会構成心臓 血管外科専門医認 定機構 心臓外科 専門医・修練指導者	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
外科	清水 崇	上尾中央総合 病院	科長	27 年	○	指導医講習会受講 済脳神経外科専門 医・指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	渡邊 学郎	上尾中央総合 病院	診療顧問	34 年	○	指導医講習会受講 済脳神経外科専門 医・指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	村岡 頼憲	上尾中央総合 病院	副科長	29 年	○	指導医講習会受講 済脳神経外科専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
外科	茂木 陽介	上尾中央総合 病院	副科長	18 年	○	指導医講習会受講 済脳神経外科専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
麻酔科	安田 信彦	上尾中央総合 病院	診療顧問	42 年	○	指導医講習会受講 済麻酔科指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
麻酔科	福井 秀公	上尾中央総合 病院	副科長	29 年	○	指導医講習会受講 済麻酔科指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
麻酔科	神部 芙美子	上尾中央総合 病院	副科長	21 年	○	指導医講習会受講 済麻酔科専門医 集中治療専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
麻酔科	奈良 徹	上尾中央総合 病院	副科長	15 年	○	指導医講習会受講 済麻酔科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
麻酔科	田上 大祐	上尾中央総合 病院	医長	14 年	○	指導医講習会受講 済麻酔科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
麻酔科	小林 恵子	上尾中央総合 病院	一般	20 年	○	指導医講習会受講 済麻酔科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
小児科	三村 成臣	上尾中央総合 病院	科長	20 年	○	指導医講習会受講 済小児科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
小児科	中島 千賀子	上尾中央総合 病院	部長	34 年	○	指導医講習会受講 済小児科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
小児科	石川 真紀子	上尾中央総合 病院	副科長	17 年	○	指導医講習会受講 済小児科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
小児科	種市 哲吉	上尾中央総合 病院	医長	15 年	○	指導医講習会受講 済小児科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
小児科	堀中 千尋	上尾中央総合 病院	一般	10 年	○	指導医講習会受講 済小児科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4



臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
小児科	江村 隆起	上尾中央総合 病院	科長	32 年	○	指導医講習会受講 済日本小児外科学 会 専門医・指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
産婦人科	青木 千津	上尾中央総合 病院	科長	30 年	○	指導医講習会受講 済産婦人科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
産婦人科	中熊 正仁	上尾中央総合 病院	診療顧問	31 年	○	指導医講習会受講 済産婦人科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
産婦人科	江澤 正浩	上尾中央総合 病院	副科長	21 年	○	指導医講習会受講 済産婦人科専門医・ 指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
整形外科	古永 安慶	上尾中央総合 病院	科長	23 年	○	指導医講習会受講 済認定リウマチ医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
整形外科	印南 健	上尾中央総合 病院	副院長	28 年	○	指導医講習会受講 済整形外科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
整形外科	山田 和明	上尾中央総合 病院	副科長	21 年	○	指導医講習会受講 済日本整形外科学 会／日本専門医機 構 整形外科専門 医・研修指導者	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
整形外科	佐々木 源	上尾中央総合 病院	副科長	18 年	○	指導医講習会受講 済 日本整形外科 学会 整形外科専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
泌尿器科	川島 洋平	上尾中央総合 病院	科長	20 年	○	指導医講習会受講 済泌尿器科専門医・ 指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
泌尿器科	佐藤 聡	上尾中央総合 病院	副院長	34 年	○	指導医講習会受講 済泌尿器科指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
泌尿器科	森山 真吾	上尾中央総合 病院	副科長	17 年	○	指導医講習会受講 済泌尿器科専門医・ 指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
泌尿器科	藤森 大志	上尾中央総合 病院	副科長	15 年	○	指導医講習会受講 済泌尿器科専門 医・指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
泌尿器科	小川 一栄	上尾中央総合 病院	医長	20 年	○	指導医講習会受講 済泌尿器科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
泌尿器科	萩原 和久	上尾中央総合 病院	医長	13 年	○	指導医講習会受講 済	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
泌尿器科	篠原 正尚	上尾中央総合 病院	医長	13 年	○	指導医講習会受講 済泌尿器科専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
耳鼻いん こう科	大崎 政海	上尾中央総合 病院	科長	36 年	○	指導医講習会受講 済耳鼻咽喉科専門 医 形成外科専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
耳鼻いん こう科	徳永 英吉	上尾中央総合 病院	院長	39 年	○	指導医講習会受講 済耳鼻咽喉科専門 医 頭頸部がん専 門医制度暫定指導 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
耳鼻いん こう科	木下 慎吾	上尾中央総合 病院	副科長	20 年	○	指導医講習会受講 済耳鼻咽喉科専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
耳鼻いん こう科	三ツ村 一浩	上尾中央総合 病院	副科長	21 年	○	指導医講習会受講 済耳鼻咽喉科専門 医 耳鼻咽喉科専門 研修指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
耳鼻いん こう科	間中 和恵	上尾中央総合 病院	一般	28 年	○	指導医講習会受講 済耳鼻咽喉科専門 医・専門研修指導 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
病理診断 科	杉谷 雅彦	上尾中央総合 病院	科長	43 年	○	指導医講習会受講 済日本病理学会 病理専門医・病理専 門医研修指導医 死体解剖資格認定 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
病理診断 科	長田 宏巳	上尾中央総合 病院	診療顧問	39 年	○	指導医講習会受講 済日本病理学会 病理専門医・病理専 門医研修指導医 解剖資格認定医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
病理診断 科	絹川 典子	上尾中央総合 病院	副科長	38 年	○	指導医講習会受講 済日本病理学会 病理専門医・病理専 門医研修指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
放射線診 断科	田中 修	上尾中央総合 病院	特任副院長	45 年	○	指導医講習会受講 済総合内科専門医・ 指導医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
放射線診 断科	近藤 まり子	上尾中央総合 病院	科長	35 年	○	指導医講習会受講 済日本医学放射 線学会 放射線科専 門医・放射線診断専 門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4
放射線診 断科	小林 直樹	上尾中央総合 病院	副科長	28 年	○	指導医講習会受講 済放射線診断専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4

臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030133

臨床研修病院の名称：上尾中央総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
放射線診断科	西宮 理気	上尾中央総合病院	副科長	27年	○	指導医講習会受講 済放射線診断専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
放射線診断科	大河内 知久	上尾中央総合病院	副科長	23年	○	指導医講習会受講 済	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
放射線診断科	川口 将司	上尾中央総合病院	副科長	19年	○	指導医講習会受講 済放射線診断専門 医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	4
臨床検査科	熊坂 一成	上尾中央総合病院	科長	52年	○	指導医講習会受講 済臨床検査専門医	上尾中央総合病院臨 床研修プログラム	3、4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。